

# 愛媛はどうしてJを目指すのか？

～愛媛F CのJリーグ加盟は地域にどんな影響を及ぼすのか～

【第1回】愛媛のサッカーそしてスポーツはどう変わるのか？

10月15日（土）18：00～ 愛媛大学 グリーンホール

17：30 開場

18：00 第一部（30分）講演

「街クラブが目指すJリーグ、生涯サッカー環境の整備」

講師：小幡忠義様

18：40 第二部（60分）パネルディスカッション

「競技からスポーツコミュニティへ 愛媛スポーツの今後」

○パネラー

小幡忠義氏（社団法人塩竈F C）

和泉茂徳氏（四国クラブユースサッカー連盟理事長）

三浦ヒサオ氏（フリーライター サッカークリニック等執筆）

近藤義博氏（フリーライター 愛媛F Cマッチデープログラム担当）

○コーディネーター

山崎昭彦氏 超ワールドサッカー編集部

19：40 質疑応答

19：50 閉式のあいさつ 愛媛にJチームを作る会 代表 伊藤裕一

20：00 終了

○司会 愛媛にJチームを作る会

主 催 愛媛にJチームを作る会

後 援 愛媛県

松山市

愛媛県サッカー協会

四国クラブユースサッカー連盟

協 力 愛媛CATV

株式会社愛媛F C

## ■講師、パネラー紹介（敬称略）

### ○講師

#### 小幡 忠義（おばた ただよし）

社団法人塩竈フットボールクラブ理事長（宮城県塩釜市）

日本クラブユースサッカー連盟常任理事

日本サッカー協会4種 大会実行副理事長

昭和39年塩釜サッカースポーツ少年団を設立、ドイツのスポーツシューレの影響を受け平成8年に社団法人化、少年からトップチームまで有し、愛媛FC同様市民チームとしてJリーグ参入を目指す。また競技力向上の面だけでなく、「する喜び」「見る感動」「語る楽しみ」を得られる地域総合型スポーツクラブの模範として全国からの注目を集めている。加藤久氏（元日本代表、日本サッカー協会強化委員長、ヴェルディ監督など）も塩竈FC出身。宮城県より委託を受け公園の芝管理や東北大学病院等と連携してスポーツ医学の確立にも協力している。

### ○コーディネーター

#### 山崎 昭彦（やまざき あきひこ）

1960年生まれ。法政大学第二文学部卒業後、少年サッカー雑誌「ゴール」編集部勤務。のちにバールボール・マガジン社に移り、アイスホッケー・マガジン編集部在籍後、1988年にサッカー・マガジン編集部へ異動。その後、スポーツ・アイESP編成部（スポーツ専門CSテレビ局）、マイクロソフトMSN事業部などで勤務し、現在はゼットプロジェクト編集部次長。

### ○パネラー

#### 和泉 茂徳（いずみ しげのり）

愛媛県サッカー協会常任理事、四国クラブユースサッカー連盟理事長。

1995年株式会社愛媛フットボールクラブ設立時からユース年代の指導に携わる。

1997年天皇杯ではユースチームで唯一初戦突破、東京ガス（現FC東京）に延長戦の末1-2で敗れる。現在愛媛FCではユース年代の指導は後輩に譲り、キッズ年代の普及に携わる。

#### 三浦 ヒサオ（みうら ひさお）

フリーライター

愛媛県在住。指導者の月刊誌「サッカークリニック（ベースボールマガジン社）」にてワールドユースや日本ユース代表の試合・合宿、全国の有名校の指導現場を解説。日本だけでなく世界各国取材されており、育成年代の実情に精通している。

#### 近藤 義博（こんどう よしひろ）

フリーライター

愛媛県在住。愛媛FCのサポーターであり、マッチデープログラム編集にも携わる。学生時代には日本代表の福西選手と同じチームでプレー。国内外でのサッカー観戦も多い。